

学校教育目標		確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく生きる児童を育成する。		重点目標	思考力や表現力を身に付けた子どもの育成 人間関係調整力を身に付けた子どもの育成					
評価計画				自己評価		学校関係者評価		改善計画		
重点目標	目標達成のための具体的方策	評価指標 (改善指標または取り組み指標)	評価	結果(成果と課題)	評価	コメント				
重点目標に関する評価	思考力の育成	国語科の学習において、教科書の内容を的確に読み取らせるとともに、読み取ったことに対する自分の考えをもつことができるようにする。	・教科書の内容を的確に読み取らせる指導に取り組んでいる。 ・読み取ったことについて自分の考えをもたせる指導に取り組んでいる。	3 3	音読を毎日続けることで、読む力がついてきた。 言葉を正しくイメージしたり、理解したりする力を育成する必要がある。	3 3 3 3	国語・算数・音楽に焦点を絞り、目標・実践・評価も適切である。児童より先生の評価が厳しいことから意気込みを感じる。 学習発表会での音楽に関してはすばしかった。国語では朗読を聞いたが、評価通りである。今後も重点目標として継続していただきたい。	子どもの考えを的確に評価することによる学習意欲の高揚 学習活動の自己評価と相互評価活用 考えの理由や根拠を説明する力の育成		
		算数科の学習において、答えや解決方法の見通しをもたせ、問題の解決ができるようにする。	・答えや解決の見通しをもたせるように努めている。 ・自分の考えをもたせるとともに、解決方法を説明させるように努めている。	3 2						
		音楽科の学習において、曲に対する自分の思いをもつことができるようにする。	・曲との出会いを工夫し、自分なりのイメージをもたせる指導に努めている。 ・自分の思いをもって歌ったり演奏したりする指導に取り組んでいる。	4 3						
		国語科の学習において、自分の考えを書いたり発表したりすることができるようにする。	・1時間に1回は書く活動を設けて、自分の考えを書かせるように努めている。 ・交流活動を仕組み、自分の考えを進んで発表させるように努めている。	3 3						
	表現力の育成	算数科の学習において、自分の考えを書いたり発表したりすることができるようにする。	・1時間に1回は書く活動を設けて、自分の考えを書かせるように努めている。 ・よりよい解決方法について、考えを進んで交流させるように努めている。	3 2	書く活動を位置づけ、ノート指導を丁寧に行ったことで少しずつ力が付いてきた。 発表することへの意欲が見えるようになってきた。 考えをまとめたり、自分なりの言葉を選んで表現することに抵抗がある。 話し合い活動を充実させる必要がある。	4 4 3	児童・先生方ともに2学期の評価が高くなり、成果が表れていて評価も適切。学習発表会は堂々としていて良かったと思う。 学習発表会を見たが、音楽の表現力は良かった。重点目標として継続していただきたい。	表現力に関する職員の共通理解 子どもの想いや考えを表現する場の工夫 話し合いを深めるための活動のモデル化 日記指導など家庭と連携した学習の習慣化		
		音楽科の学習において、自分の思いをいろいろな方法で表現することができるようにする。	・曲のイメージなどについて進んで話し合わせる指導に取り組んでいる。 ・自分の思いを工夫して表現させる指導に取り組んでいる。	3 3						
		道徳や学活の時間の充実を図ることで、自分や友達に対する見方を深めることができるようにする。	・道徳の時間には自分を見つめなおす活動に取り組んでいる。 ・学活では学期に1回はCSSの授業を行いスキルを身に付けさせるように取り組んでいる。	3 4						
	人間関係調整力の育成	日常の言語活動を意識化させることにより、対人関係における言葉の大切さに気付かせる。	・気持のよい挨拶や好ましい言葉使いを身に付けさせるように努めている。	3	道徳や学活の授業で相手の気持ちを考えることを繰り返し学習したことで、少しずつ自分の言動を振り返る力が付いてきた。 全校的な取組で、人間関係に広がりが見えてきた。 学校に外部から来られるお客さんに対する挨拶や声をかけられた時の返答が不十分である。	4 4	人間関係形成力の育成が一番難しく成果を上げにくい分野だが、先生方の評価が適切になされている。 授業方法に工夫をされているのが分かり、今後の一層の発達を期待される。 先生方の努力で、特に6年生は1年前と比べると心身共に大きく成長し明るくなった。 人間関係形成力の重要性は今後学校生活で最も必要不可欠。 相手の気持ちになって考えることや挨拶が人間関係を良くする上で重要。	全校的な取組(朝の運動・マイガーデン・シャッフルタイム等)の継続と発展 明確な児童像による教職員共通目標設定 低中高の育成計画をもとにした指導の充実 言語活動を意識した人間関係づくりの充実 異学年交流の推進 川尻小児童との交流		
		異学年交流を推進することにより、多人数の前に出ることに慣れることができるようにする。	・合同授業や縦割り活動などを積極的に取り入れた教育課程を実施している。	4						

自己評価 4:目標達成(90%以上) 3:ほぼ達成(70%~90%) 2:もう少し(60%~70%) 1:できていない(60%未満)  
 学校関係者評価 4:自己評価は適切である 3:自己評価はほぼ適切である 2:自己評価はあまり適切でない 1:自己評価は不適切である

領域	評価計画		自己評価		学校関係者評価		改善計画
	評価の観点	評価指標 (改善指標または取り組み指標)	評価	結果(成果と課題)	評価	コメント	
教育課程・学習指導	年間指導計画や週学習指導計画の作成	学校教育目標・重点目標が学年・教科経営へと整合性がとれている	4	全職員の共通理解のもと、教育目標の具体化を行っているため、評価改善実施 次年度の計画のサイクルがうまく進んでいる。	4	教職員のもとでは子供達がよく見ている。	移行措置期間の確実な授業内容実施 重点教科及び重点単元の精選により、豊かな表現力育成
	効果的な指導方法の工夫	学年の実態に応じ、IT授業等きめ細やかな授業を実施している	3		4	年間の目標の実現に、全職員で取り組まれている様子が素晴らしい	
	量的管理と質的管理	週案によるきめ細かな計画で、効率的な授業を実施している	3		4		
進路指導	児童の夢や希望を育む指導	行事的な取組で、鑑賞会やGTによる講話等を実施し、児童の夢や希望を育んでいる	3	価値ある体験や人との出会いにより、人間の成長に役立っている。人材発掘に努めたい。	4	核家族化が進む中、GTの体験談は必要	夢を育み豊かな情操を育てる活動の工夫とGTの発掘
生徒指導	いじめ・不登校の組織的な対応	生徒指導委員会の定期的な開催と生活アンケート取組により、いじめ・不登校の未然防止に努めている	4	年間3回の生活アンケート実施により、児童理解ができやすく、問題行動の未然防止に役立っている。	4	生活アンケートは問題行動防止に役立つ、学校の努力でいじめ不登校が減少。地域も協力を、年3回アンケート実施で実態が良く把握されている	配慮を要する児童の個票作成
	児童の実態把握	生活アンケートの結果の把握と整理、その後の対応を計画的に行っている	3		4		
	問題行動への対応	出席・遅刻・早退状況を把握し、問題行動の早期発見と解決に努めている	4		4		
保健管理	保健管理体制	環境衛生(教室の換気、採光、トイレ、飲料水等)、保健室(健康診断・救急措置・健康相談)の管理に努めている	3	日常の保健管理に努めるとともに、食育を基に児童の健康管理に努めている。基本的な生活習慣に個人差があることから、家庭と連携を図り、指導をしていく必要がある。	4	衛生管理に重要性	日常の整理整頓並びに効率的な清掃活動への指導徹底
	学校給食の管理	日常の衛生管理と検食、設備の点検により、安全な学校給食を実施している	4		4		
安全管理	安全教育	学校安全計画に基づき、安全教育を確実に実施している	4	最重要視していくべき領域だと認識し、管理実施に努めている。	4	緊急時の対応が不可欠	安全指導の徹底 交通安全指導 不審者対応
	危機管理	防災計画に基づき、緊急時に適切で迅速な対応ができるよう役割が明確になっている	3	さらに、子ども見守り隊の方々との連携を強化していきたい。	4	見守り隊の方々がよく活動して頂いている	
	日常の管理・点検	施設・設備について、日常的な点検や適切な管理が行われている	3		4		
特別支援教育	組織	特別支援教育推進委員会の組織化を図っている	3	教育相談室等の関係機関と連携を図りながら、研修を深めている。また、必要に応じて教育相談を実施している。	3	少人数であることの利点を生かして、一人一人を大切にしている	普通学級に於ける特別支援教育についての研修
	支援体制と研修	校内研修により職員の意識向上を図るとともに、支援が必要な児童への支援体制の工夫を図っている	3		3		
	連携・啓発	関係機関との連携を図るとともに、保護者への啓発に努めている	3		4		
組織運営	校務分掌の機能状況	各主任はリーダーシップを発揮し、校務の処理に当たっている	3	全職員で全児童を育てるというコンセプトのもと、小規模校のよさを生かした指導体制の工夫を行っている。児童が生き生きと生きてきている。	4	大規模に対応できる児童に	職員間の信頼ある人間関係づくり リーダーを核にした協働・協調の実践運営
	組織マネジメント	職員会議や諸会議を効率的に運営し、全職員協働による運営をしている	4		4	児童の個性が表れている行事で先生方の団結力	
研修	校内研修	教育課題解決をめざす校内研修の推進体制の確立が図られている	4	音楽科を重点に組織的な研究を推進し、音楽を愛好する児童を育てるとともに豊かな情操教育に努めている。	4	継承していくことよく努力してある。今後も豊かな情操教育を音楽教育の一体感有	外国語活動に関する研修の充実 校内研究(音楽科学習指導)の更なる充実
	校外研修	一般研修や校外研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めている	4		4		
教育目標 学校評価	教育目標の達成状況、学校評価状況	適切な自己評価を実施し、改善計画を立てて次年度に活かしている	3	学校評価計画に沿って、自己評価を実施した。改善計画を基に次年度の教育計画を充実させた。	4		児童像と方策の具体化 保護者・地域の理解・協力・支援
情報提供	学校開放日	授業参観日や学校開放日等を設け、適切に学校を公開している	3	参観や情報提供等、学校の公開に努めている。	3	学校開放は計画通りなので4でいいのでは	積極的情報発信 教育の動向や教育方針 児童のよさやがんばり
	情報提供	学校便り・学級便り・Mボード等を通して、児童や学校の様子を適切に伝えている	4	学校行事には、できる限り地域の方々に呼びかけ、学校への理解を得る工夫をしている。	4	参観の呼びかけは良くない。我々がもっと参加を	
保護者・住民等との連携	保護者・住民等との連携状況	PTAや地域役員、学校評議員、川尻小、右京中との連携を図り、学校教育の充実を図っている	3	計画的に連携を図っている。学校再編に向け川尻小との連携を強化していきたい。	4	最重要点である更なる提携を	川尻小:教育課程の作成 右京中:連携計画の見直し
教育環境整備	施設・設備	学校再編に向けた望ましい環境整備に取り組んでいる	3	学校再編会議をもとに整備を進めているが、次年度はその具体化を効率的に進めたい。	4	最重要点である児童が気持ちよく学習	開校へ向けての環境整備 安全点検と環境美化
	教材・教具	学校再編に向けた望ましい教材・教具の整備に取り組んでいる	3		4	できる環境整備を	

自己評価 4:目標達成(90%以上) 3:ほぼ達成(70%~90%) 2:もう少し(60%~70%) 1:できていない(60%未満)  
 学校関係者評価 4:自己評価は適切である 3:自己評価はほぼ適切である 2:自己評価はあまり適切でない 1:自己評価は不適切である